

会場/時間	演題番号	No.	氏名	所属	午前	午後1	午後2	演題名
第2講義棟2階 62講義室 9:30~11:30	O1	1	3 木脇 和利	総合病院国保旭中央病院 医療連携福祉相談室 MSW				児童虐待発生予防のためのMSWの特定妊婦への関わりについて
		2	27 田中 美維	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院				当院における周産期からの虐待防止への取り組みについて
		3	43 柿沢 有希子	富山県立中央病院 小児病棟				当院周産期母子医療センターで要保護気がかり母子と判断された事例の事後調査を行って
		4	1 宮澤 敬子	ながの子どもを虐待から守る会				心配のメタ認知的信念と母親の育児不安の関連性
		5	6 二宮 恒夫	徳島大学医学部保健学科			B-47	リスク因子「成育歴(被虐待歴など)」の養育に関する他のリスク因子との関係検討
		6	20 池田 香織	佐賀県杵藤保健福祉事務所福祉支援課母子保健福祉担当				ハイリスク妊産婦等の妊娠期からの支援に関する検討～市町母子保健事業アンケートから～
		7	30 佐野 恒子	相模原協同病院 産婦人科病棟 助産師				胎児・乳幼児・小児虐待の防止に向けて
		8	34 渡邊 茉奈美	東京大学大学院教育学研究科				虐待不安の発生機序の検討—妊娠期に着目して—
第2講義棟2階 64講義室 9:30~11:30	O2	1	21 関口 智子	児童養護施設 恵愛学園				高等教育機関に進学した施設退所児童への継続的自立支援に向けた環境構築
		2	22 辻 真基	東京都児童相談センター 治療指導課				生活場面で虐待児のアセスメントとケア 子どものグループワークにアサーショントレーニングを導入して
		3	25 大橋 麗子	岐阜大学医学部看護学科				肢体不自由児施設に経験する被虐待児支援における困難の構造—子どもと家族をつなぐ支援—
		4	32 大原 天青	会津大学短期大学部		B20		非行化に至るリスク要因と保護要因に関する実証的研究—児童養護施設に入所する子どもを対象に—
		5	38 奥山 仁美	兵庫県立清水が丘学園				児童福祉施設における入所児童の問題行動に対する個別対応プログラムについて
		6	41 大谷 誠英	上田女子短期大学				職員の増加がもたらす業務負担の軽減とコミュニケーション不全によって発生する新たな問題
		7	47 仲島 光比古	長野県松本児童相談所				児童養護施設における暴力防止システムの開発
第2講義棟2階 61講義室 12:30~14:15	O3	1	8 尾島 万里	ながの子どもを虐待から守る会				子育て中の母親の愛着スタイルと育児不安の関連性について
		2	37 門間 晶子	名古屋市立大学看護学部				自ら望んで一時保護に子どもを預けた経験を母親はどのように語るのか
		3	45 坂 鏡子	名古屋学芸大学				虐待予防を目的にした養育支援訪問の試み
		4	50 田中 正子	McMaster University				子ども時代の虐待体験と現在のドメスティックバイオレンスの関連:カナダのスクリーニング研究からの報告
		5	28 田嶋 里美	情緒障害児短期治療施設 長野県松本あさひ学園				情緒障害児短期治療施設「松本あさひ学園」における施設と学校との連携 ~放課後の活動「あさひクラブ」~
		6	13 岩藤 幸男	一般財団法人 倉敷成人病センター 総合相談室				子ども虐待対応におけるスクールソーシャルワーカーの関与 ~学習支援を通して~
		7	16 久米 隼	立教大学大学院				埼玉県新座市A小学校コフレンド事業の事例検討—One Child, One Lifeの取り組み—
第2講義棟2階 62講義室 12:30~14:30	O4	1	23 稲垣 美登利	三重県北勢児童相談所				児童養護施設における性教育(体と心の健康教育)の取り組み
		2	26 柚山 香世子	亀田医療大学 看護学部 看護学科				思春期女子を支援する児童養護施設の専門職員の「性への配慮」と「性教育への認識」および看護職の役割
		3	31 小林 稔	一般財団法人長野県児童福祉施設連盟				「長野県下児童養護施設における性的問題行動の実態調査」性的問題対応ガイドライン作成に向けて
		4	39 川股 沙穂子	(社)青少年福祉センター 暁星学園				高齢児専門の児童養護施設としての取り組み—心理とケアワークの協働—
		5	46 鈴木 秀洋	文京区男女協働・子ども家庭支援センター課長				基礎自治体における要保護児童対策地域協議会の課題と展望—専門性と地域力の取組
		6	52 毎原 敏郎	兵庫県立塚口病院				児童福祉・虐待勉強会6年間のまとめ
		7	5 和田 一郎	恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所 k-5				わが国の子ども虐待の社会的コスト
		8	29 齋藤 知子	帝京平成大学				児童虐待死亡事例の裁判記録を用いた検証について
第2講義棟2階 64講義室 12:30~14:15	O5	1	15 田上 幸治	神奈川県立こども医療センター 総合診療科 B-13				AHTの長期的予後は急性期MRI拡散強調画像のADC値と相関する
		2	24 森山 浩子	大阪府立母子保健総合医療センター				虐待危険要因と支援状況との関連性の検討
		3	44 山本 伊佐夫	神奈川歯科大学大学院災害医療歯科学講座法歯科学				舌頭矯正術による蹄泣改善と虐待予防の検討
		4	49 小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院小児科				当院での虐待対策の取り組み:偶発的な事故例における院内の連携
		5	51 平野 朋美	埼玉県立小児医療センター				小児専門病院における死亡事例検証報告
		6	53 山西 敏朗	山西クリニック				舌頭矯正術により虐待および母子心中が回避できた症例
		7	7 林 敬人	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科法医学分野				児童虐待に基づくストレスによる副腎内分泌系の変化—死亡事例からの法医学的アプローチ
第2講義棟2階 61講義室 15:00~16:45	O6	1	48 佐藤 拓代	大阪府立母子保健総合医療センター企画調査部 B11 B28 B50				わが国の児童相談所と市町村の虐待対応の分析～虐待地域アセスメント研究第2報～
		2	4 田中 良幸	東京都北児童相談所 K-2				当事者をエンパワメントする支援—いわゆる「見守り」の特徴と限界—
		3	9 柳川 敏彦	和歌山県立医科大学保健看護学部				児童虐待による一時保護児童と家族の親子再統合に関する研究—全国児童相談所のアンケートによる現況調査—
		4	11 畑岡 真紀	横浜市西部児童相談所				児童福祉司の業務上の困難性とその対処スキルについての研究
		5	12 林田 太郎	静岡県立吉原林間学園				乳児院入所児への継続的支援(乳児院入所児等発達支援事業)—措置機関の発達を支援する役割として—
		6	17 畠山 由佳子	神戸女子短期大学				北米におけるDifferential Response実践—コロラド州・ミネソタ州での実践調査より—
		7	33 八木 安理子	枚方市家庭児童相談所				市町村のための「市区町村児童虐待防止と支援のあり方」
第2講義棟2階 62講義室 15:00~16:45	O7	1	10 寺田 悦子	NPO法人多摩在宅支援センター円				精神疾患をもつ子育て世帯を対象としたPCG事業報告
		2	14 矢崎 純子	甲府市医師会 小児初期救急センター				子ども虐待を学ぶ看護学生への講義のあり方について
		3	40 加瀬 多恵子	総合病院旭中央病院				救急外来での虐待の早期発見に対する取り組み～看護師が虐待の視点を持ち関わるための工夫～
		4	35 竹田 佳子	東邦大学医療センター大森病院				複雑な家庭背景を持ち治療抵抗性ネフローゼ症候群の児と母親への関わりについて
		5	42 池田 さつき	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター				愛着障がいの諸症状を示す子どもへの看護ケアの検討
		6	18 城戸 貴史	静岡県立こども病院 地域医療連携室				静岡県立こども病院における児童相談所通告を保護者に告知する取り組みについて
		7	19 藤原 武男	国立成育医療研究センター研究所 成育社会医学研究部 K-10				揺さぶられ症候群(虐待による頭部外傷)の予防に関する研究